

# 中部大学ボランティア・NPOセンター 災害対策プロジェクトの活動紹介

## 中部大学ボランティア・NPOセンターって？

2004年に学生ボランティア団体として活動をスタートした。

現在は「社会教育」「社会福祉」「環境対策」「災害対策」「地域貢献」の5つのグループで多岐にわたる活動を展開している。



## 災害対策プロジェクトとは？

2007年に始動し、スタッフ一人ひとりが防災・減災について考えることを目的に活動している。東日本大震災発生以降からは被災地支援に関わる活動を継続し、その他にも以下の4つの観点から活動を行っている。

「応急救護の実施体制」 「避難経路と避難所運営」  
「平常時からの災害対応」 「被災地の支援体制」

## 活動の例：

2023年10月21日/22日の春日井まつりに参加  
目的：近年、地球温暖化の影響を受けて多くの洪水災害、豪雨災害が発生している。危険な場合には避難指示が発令されるが、実際に避難していない住民は多い。水害時の避難を進めるためには、水害の危険性や対策を認知し、みんなで避難行動を起こす地域防災力の向上が不可欠である。そこで、中部大学が有している都市浸水模型を使って、市民に対して水害時の状況や対策を説明した。

